

2019年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2018年7月4日
東

上場会社名 株式会社 ツヴァイ 上場取引所
 コード番号 2417 URL http://www.zwei.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)後藤 喜一
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理本部長 (氏名)福島 徹 (TEL)03(6858)6544
 四半期報告書提出予定日 2018年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期第1四半期の業績（2018年3月1日～2018年5月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第1四半期	877	△1.6	△83	—	△64	—	△60	—
2018年2月期第1四半期	891	△4.6	△93	—	△81	—	△70	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第1四半期	△15.23	—
2018年2月期第1四半期	△17.81	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年2月期第1四半期	4,602	3,688	79.9
2018年2月期	4,593	3,801	82.5

(参考) 自己資本 2019年2月期第1四半期 3,677百万円 2018年2月期 3,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2019年2月期	—	—	—	—	—
2019年2月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年2月期の業績予想（2018年3月1日～2019年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	1.3	30	—	60	—	12	—	3.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年2月期1Q	3,948,900株	2018年2月期	3,948,900株
② 期末自己株式数	2019年2月期1Q	298株	2018年2月期	298株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年2月期1Q	3,948,602株	2018年2月期1Q	3,944,102株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国では、厚生労働省の平成29年度人口動態統計の年間推計によると、出生数は平成28年度に続き2年連続で100万人を下回り、自然減は40万人を超え、人口減少がますます深刻な社会問題となっております。また、婚姻件数も減少傾向にあり、未婚化、晩婚化が進んでおります。一方で、平成27年に実施された「第15回出生動向基本調査」によると、25～34歳の未婚者のうち、「独身でいる理由」は「適当な相手にめぐり会わない」と回答する男性が45.3%、女性が51.2%ということであり、自分にとって適当だと考える結婚相手と巡り会いたいという未婚者のニーズは依然、高いと考えております。

このような状況の中、「幸せな出会いを創造する」ことを経営理念としている当社におきましては、顧客満足度の更なる向上と将来の成長に向けた事業改革を行い、1組でも多くの会員さまが結婚できるよう取り組んでまいりました。

①「新しい紹介サービスモデルの導入」

従来からの条件によるマッチング、価値観によるマッチングに加え、ご自分でお相手を探したいという会員さまニーズに応え、写真とプロフィール情報からお相手を検索できる新たな検索型のマッチングサービス「インプレッションマッチング」を4月より導入いたしました。サービススタート時には計画以上の利用者申請をいただき、サービススタート後も利用者数は順調に増加しています。これにより、出会いの機会拡大および計画を上回るサービス利用料収入の増加となりました。

②「成婚につながる適切なサポートの実現」

組織横断の社内プロジェクトを編成し成婚される会員さまを更に増加させる取り組みを全社あげて進めております。具体的には、会員向けポータルサイトの機能充実やお写真の更新やお相手へのメッセージ文章の修正、店舗での会員フォローやアドバイスの強化を図ることにより、より多くの方が出会いの機会を得て交際に発展するための支援策の検討・実践を行っております。

その効果もあり、当会計期間における退会者に占める成婚退会率は昨年同期比で2.1ポイント向上しております。

③「広告宣伝、マーケティングの強化によるリブランディングの実施」

広告宣伝においては、前年に比べWEBメディアの運用強化に加え、5月よりテレビCM等でのブランディングムービー放映を開始する等、積極的な販促を実施しました。その結果、当会計期間におきましては、計画を上回るお客さまご応募数となりました。特に20代の若年層については、前年同期比120.2%とご応募数を大きく増やし認知度の向上に資することができております。

④「周辺事業の収益向上」

パーティ事業につきましては、会員外パーティ事業の「クラブチャテオ」を3月で終了し、自治体・法人企業等からの利益率の高いパーティ受託へのシフトを進めました。

ウエディング事業につきましては、不採算のウエディングデスクを閉店することで効率化を図りました。

ライフデザイン事業につきましては、当会計期間には、地方創生を婚活支援と地域活性化で取り組む「ミライカレッジプロジェクト」や、和歌山県での移住促進事業等に取り組んでおります。

以上の取り組みを実施し、ツヴァイ事業においては、新規入会者は前年を上回り、また退会者は前年を下回りました。実数では新規入会者が退会者を下回ったことで当第1四半期会計期間では期首に比べ会員数は減少となりましたが、インプレッションマッチングの導入等により、ツヴァイ事業の売上高は前年を超過しました。周辺事業においては利益重視の施策に転換したことに伴い売上が減少となり、全社売上高は8億77百万円（前年同期比98.4%）となりました。

利益につきましては、広告宣伝の強化による媒体費の増加やインプレッションマッチング等のシステム投資による減価償却費の増加はありましたが、周辺事業の事業整理および設備費の削減等に取り組んだことにより販売費及び一般管理費は前年同期比95.9%と減少となりました。その結果、前年同期比より10百万円の利益改善とはなったものの、営業損失83百万円（前年同期は営業損失93百万円）、経常損失64百万円（前年同期は経常損失81百万円）、四半期純損失60百万円（前年同期は四半期純損失70百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末から9百万円増加し、46億2百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ56百万円減少し、17億20百万円となりました。主な要因は、前年度受託のライフデザイン事業の売掛債権回収等による売掛金27百万円の減少と前受金保全額の減少に伴う金銭の信託26百万円の減少によるものです。これらの回収した手許現金は、配当金支払等に充当されております。

固定資産は、前事業年度末に比べ66百万円増加し、28億81百万円となりました。主な要因は、保有株式の時価評価等により投資その他の資産が95百万円増加したことによります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末から1億22百万円増加し、9億13百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて97百万円増加し、4億42百万円となりました。主な要因は、5月に映像媒体等を強化したこと等により買掛金が48百万円増加したことおよび5月度売上増加に伴う売上原価費用等の増加により未払費用が13百万円増加したことによります。

固定負債は、前事業年度末に比べ24百万円増加し、4億70百万円となりました。主な要因は、保有株式の時価評価により繰延税金負債が29百万円増加したことによります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末から1億12百万円減少し、36億88百万円となりました。主な要因は、四半期純損失60百万円と配当金支払額1億18百万円による株主資本の減少によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

ツヴァイ事業においては、引き続き「新しい紹介サービスモデルの導入」「成婚につながる適切なサポートの実現」を行い、顧客満足度を向上させることで安定的な収益基盤を築くとともに、周辺事業においては引き続き利益重視の施策に重点を置き収益性向上に努めます。また、広告宣伝、マーケティングの強化も継続して行う事で積極的に認知度の向上を図り、リブランディングを推進してまいります。

また、店舗の統廃合や各種契約の見直し等を実施することでコスト削減を実現し、2019年2月期の業績予想につきましては、2018年4月11日に公表いたしました予想から変更ありません。

1. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2018年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,891	69,099
売掛金	497,258	469,577
前払費用	72,194	74,905
短期貸付金	70,000	70,000
繰延税金資産	34,629	43,582
関係会社預け金	1,050,000	1,000,000
金銭の信託	65,000	39,000
その他	8,897	29,146
貸倒引当金	△74,240	△74,541
流動資産合計	1,777,632	1,720,770
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	89,601	81,755
工具、器具及び備品(純額)	102,202	95,160
リース資産(純額)	32,264	29,426
有形固定資産合計	224,068	206,342
無形固定資産		
ソフトウェア	723,885	781,277
ソフトウェア仮勘定	92,462	23,907
電話加入権	3,650	3,650
無形固定資産合計	819,997	808,834
投資その他の資産		
投資有価証券	1,220,804	1,316,033
敷金	330,674	330,569
保険積立金	219,102	219,102
その他	810	1,068
投資その他の資産合計	1,771,391	1,866,774
固定資産合計	2,815,457	2,881,951
資産合計	4,593,089	4,602,722

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2018年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	85,923	134,317
リース債務	12,260	12,260
未払金	42,248	37,642
未払費用	103,612	117,030
未払法人税等	11,484	6,853
未払消費税等	18,754	21,338
前受金	32,901	39,530
賞与引当金	16,943	38,970
役員業績報酬引当金	-	4,892
設備関係未払金	13,510	6,066
資産除去債務	3,089	3,531
その他	4,627	20,414
流動負債合計	345,355	442,847
固定負債		
リース債務	23,601	20,536
繰延税金負債	297,387	326,790
退職給付引当金	49,750	48,364
資産除去債務	75,599	75,221
固定負債合計	446,338	470,913
負債合計	791,693	913,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	456,855	456,855
資本剰余金		
資本準備金	462,842	462,842
資本剰余金合計	462,842	462,842
利益剰余金		
利益準備金	60,000	60,000
その他利益剰余金		
別途積立金	2,220,000	1,890,000
繰越利益剰余金	△204,341	△52,960
利益剰余金合計	2,075,658	1,897,039
自己株式	△362	△362
株主資本合計	2,994,993	2,816,374
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	795,393	861,578
評価・換算差額等合計	795,393	861,578
新株予約権	11,008	11,008
純資産合計	3,801,396	3,688,961
負債純資産合計	4,593,089	4,602,722

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2017年3月1日 至2017年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)
売上高	891,156	877,063
売上原価	485,014	481,477
売上総利益	406,141	395,585
販売費及び一般管理費	499,682	478,888
営業損失(△)	△93,541	△83,302
営業外収益		
受取利息	432	438
受取配当金	17,830	18,344
その他	153	216
営業外収益合計	18,415	18,998
営業外費用		
雑損失	6,858	185
営業外費用合計	6,858	185
経常損失(△)	△81,984	△64,489
特別損失		
固定資産除却損	5,676	632
賃貸借契約解約損	7,011	-
特別損失合計	12,688	632
税引前四半期純損失(△)	△94,672	△65,121
法人税、住民税及び事業税	4,372	3,634
法人税等調整額	△28,800	△8,595
法人税等合計	△24,427	△4,960
四半期純損失(△)	△70,244	△60,161

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。